

—————医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。—————

「効能・効果」、「用法・用量」及び 「用法・用量に関連する使用上の注意」改訂のお知らせ

2017年8月

発売元：光製薬株式会社
製造販売元：シオノケミカル株式会社

β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤
日本薬局方 注射用タゾバクタム・ピペラシリン
処方箋医薬品^注

タゾピペ®配合静注用2.25[SN] タゾピペ®配合静注用4.5[SN]

注)注意－医師等の処方箋により使用すること

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、標記製剤につきまして、平成29年8月30日付一部変更承認に伴い、下記の通り「効能・効果」、「用法・用量」及び「用法・用量に関連する使用上の注意」を改訂致しましたことご案内申し上げます。

今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

●改訂箇所():改訂箇所)

改訂後	改訂前
<p>【効能・効果】</p> <p>1. 一般感染症 〈適応菌種〉 (省略)</p> <p>〈適応症〉 敗血症、深在性皮膚感染症、びらん・潰瘍の二次感染、肺炎、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎</p> <p>2. 発熱性好中球減少症</p> <p>【用法・用量】</p> <p>1. 一般感染症 ・敗血症、肺炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎及び胆管炎の場合 (省略)</p> <p>・<u>深在性皮膚感染症、びらん・潰瘍の二次感染の場合</u> 通常、成人にはタゾバクタム・ピペラシリンとして、1回4.5g(力価)を1日3回点滴静注する。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。</p> <p>・腎盂腎炎及び複雑性膀胱炎の場合 (省略)</p> <p>2. 発熱性好中球減少症 (省略)</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>1. 一般感染症 〈適応菌種〉 (省略)</p> <p>〈適応症〉 敗血症、肺炎、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎</p> <p>2. 発熱性好中球減少症</p> <p>【用法・用量】</p> <p>1. 一般感染症 ・敗血症、肺炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎及び胆管炎の場合 (省略)</p> <p>・腎盂腎炎及び複雑性膀胱炎の場合 (省略)</p> <p>2. 発熱性好中球減少症 (省略)</p>

改 訂 後	改 訂 前
<p><用法・用量に関連する使用上の注意></p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2)本剤の投与期間は、成人の腎盂腎炎及び複雑性膀胱炎の場合は5日間、<u>深在性皮膚感染症、びらん・潰瘍の二次感染</u>、市中肺炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、発熱性好中球減少症及び小児の腎盂腎炎、複雑性膀胱炎の場合は14日間、敗血症及び院内肺炎の場合は21日間を目安とすること。なお、耐性菌の発現等を防ぐため、疾患の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。</p> <p>(3)～(4) (省略)</p>	<p><用法・用量に関連する使用上の注意></p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2)本剤の投与期間は、成人の腎盂腎炎及び複雑性膀胱炎の場合は5日間、市中肺炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、発熱性好中球減少症及び小児の腎盂腎炎、複雑性膀胱炎の場合は14日間、敗血症及び院内肺炎の場合は21日間を目安とすること。なお、耐性菌の発現等を防ぐため、疾患の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。</p> <p>(3)～(4) (省略)</p>

【改訂理由】

平成 29 年 8 月 30 日付一部変更承認に伴い、「効能・効果」、「用法・用量」及び「用法・用量に関連する使用上の注意」を改訂致しました。

- 今回の改訂内容につきましては医薬品安全対策情報(DSU)No.263 (2017年10月)に掲載される予定です。
- 改訂後の添付文書の情報は医薬品医療機器総合機構ホームページ <http://www.pmda.go.jp/>並びに弊社ホームページ <http://www.hikari-pharm.co.jp/>に掲載されます。